



中央アルプス駒ヶ岳のライチョウ生存確認及び捕食者対策事業の実施について

令和元年 10 月 28 日（月）
環境省信越自然環境事務所
直通 026-231-6573
所長 奥山 正樹
次長 中野 圭一
希少生物係長 福田 真

中央アルプス駒ヶ岳において、令和元年 10 月 9 日に一般登山者の撮影によりライチョウのメス 1 羽が確認されました。

また、中央アルプスでライチョウが生息していた自然環境に戻すため、高山に定着しているテン等を除去する捕食者対策事業を実施します。

1. 生存確認情報について

一般登山者 1 名から信越自然環境事務所に中央アルプスでのライチョウの目撃情報がありました。信州大学名誉教授の中村浩志氏が確認したところ駒ヶ岳で確認されていたライチョウのメス 1 羽であると推測されました。卵の移殖事業に伴う調査を行った令和元年 7 月 11 日の確認以来、初の目撃情報となりメス個体が生存していることが確認されました。

10 月 9 日（水） 10:50

情報提供者：一般登山者（70歳）（長野県安曇野市）

目撃場所：駒ヶ岳山頂西側（別添 1 地図参照）

情報提供者よりいただいたコメント：「天気が良く景色を眺めていたらライチョウが現れシャッターを切った。自分ができることは少ないが、今後の活動に役立つのであれば非常に嬉しい。」



令和元年10月9日（水） 10:50

中央アルプス駒ヶ岳山頂西側で確認されたライチョウ（提供：長友勝信）

2. 中央アルプスにおける高山の捕食者対策事業の実施について

中央アルプスでライチョウが生息していた自然環境に戻すため、登山者や山小屋への普及啓発及び1週間程度の捕食者対策事業を実施します（別添2参照）。

捕食者対策実施期間（予定）：令和元年10月29日（火）～11月5日（火）の間

実施場所：駒ヶ岳周辺の山小屋近辺

【連絡先】

信越自然環境事務所 野生生物課

希少生物係長 福田 真

TEL:026-231-6573 FAX:026-235-1226

E-Mail : MAKOTO_FUKUDA@env. go. jp

(〒380-0846 長野市旭町 1108 長野第一合同庁舎 3階)



図1 駒ヶ岳における10月のライチョウ確認場所


(国土地理院地図)

高山の自然を取り戻そう

私たち登山者のルールやマナーの徹底
少しのゴミでもテンやキツネ、カラスなどの捕食者を里山から誘引します。

冬季に高山にテンを定着させない
食べ物があるとテンが居着き、高山で越冬します。山小屋の食糧や布団が荒らされて、大きな被害となることもあります。
テント場にゴミを残さない、山小屋での食糧の保管を徹底するなどしましょう。

既に高山に定着しているテン等の除去
中央アルプスでライチョウが生息できる本来の生態系を取り戻すため、テン等の除去を実施します。除去したテン等は動物園での普及啓発や生息実態調査に用いられます。



環境省
Ministry of the Environment
環境省信越自然環境事務所・林野庁中部森林管理局・長野県・駒ヶ根市・宮田村・中央アルプス観光圏・宮田観光開発圏
お問い合わせ：026-231-6573 令和元年10月

図2 中央アルプスにおけるライチョウ捕食者対策事業ポスター